

やすらぎ

2026.6
June
Vol.100



深浦町 津軽国定公園十二湖「青池」

江戸時代の宝永元年（1704年）、大地震による山崩れによってできた湖沼群が十二湖。実際には大小33個の湖沼からなっているが、海拔約940メートルの崩山くずれやまから眺めたとき、12の湖沼が展望できたことから「十二湖」と呼ばれるようになった。

十二湖のなかでも、ひととき美しく神秘の輝きを見せてくれるのが青池だ。よく晴れた日、太陽が高い位置にあり水面に光をさす時の池の色は、澄みきったコバルトブルー。曇りや雨の日は、群青色に見える。

青池の底から湧き出る水は透明で、何度訪れても、違った色と素晴らしさを私たちに見せてくれる。

近くには大崩が間近に迫る鶏頭場の池や、湧き水が平成の名水百選（環境省）に認定された沸壺の池など、見どころいろいろ。ブナ自然林という散策路もあり、背の高いブナの木に囲まれながら白神山地のブナ林を体感することができる。

そして十二湖は、地元小中学生の学習体験の場ともなっているという。

白神十二湖エコ・ミュージアムでは、毎年5月下旬と10月下旬「十二湖三湖めぐり」と題して散策イベントを開催している。数々の池を渡る風が心地よい季節、もう一度青池を訪れてみたい。

アイシングクッキーで

みんなに幸せを届けたい！

就労継続支援B型事業所「おあしす」副施設長

佐々木 愛莉 さん（34歳）

工房の扉を開けると、ほのかに漂う甘い香り、そしてりんごやクマさん、青森県の形をした色とりどりの可愛いクッキー。おいらせ町にある就労継続支援B型事業所「おあしす」では、10代から60代まで34人の通所者が、和気あいあいとアイシングクッキー作りに励んでいる。

就労継続支援B型事業所は、雇用契約を結ばないため、自分

の体調やペースに合わせて、週1日・短時間からでも無理なく通所できるのが特徴。アイシングクッキーは、クッキーに砂糖と卵白で作ったクリームをデコレーションした可愛らしいものだ。

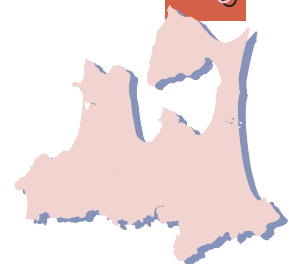
作り方を指導しているのは、副施設長の佐々木愛莉さん。6年前、お父さんと一緒に、この施設を立ち上げた。



八戸市生まれの佐々木愛莉さんは、地元の高校、盛岡の美容専門学校を卒業後、憧れの東京で美容の仕事に就く。6年間がむしやりに働くが、体調をくずしてUターン。そんな時に出会ったのがアイシングクッキーだった。「美しい色合いにひかれましたね。体調がすぐれなかった時は、色さえ感じる事ができなかったから」。教室に通って作り方をマスターした。

その後、資格を取得して福祉の仕事に就き、通所者のレクリエーションとしてクッキーを教え始めた。「みんなとても喜んでくれました。だったらレクではなく、商品として利用者に作ってもらいたいと考えるようになり、福祉施設に勤めていた父と一緒に事業所を立ち上げることにしたんです」と明かす。

作り方は、地元産りんごの粉末を入れたクッキー生地を作り焼いてから、その上にアイシングクリームを塗り、フードドレイヤーで乾かせば出来上がり。



生地に入れたりんごの品種は、紅玉、王林、シナノゴールド。型も3Dコンピュタでりんごや青森県の形を作り青森らしさを演出。ストーリー性を持たせたパッケージにも工夫を凝らした。

「私が初めてアイシングクッキーを作った時、ぶくんとした可愛らしさと色合いから自分の気持ちが上がるのがわかった。だから障害を持つみんなにも、元気になってもらいたかったんです」と佐々木さん。通所者は「難しいけど楽しい、甘いクッキーを作ると幸せになる気がします」と話す。

施設では、クッキー作りのほかにも、ピーマンを作る農作業や段ボールの回収作業も行なっているというが、クッキー作りは人気の作業だ。「通所者は、ただ家に閉じこもるのではなく、外で何かしたいと目標を持つてここに来ています。自分はその背中を押して次のステップに行けるようフォローしたいんです。商品作りがプレッシャーにならないよう、みんな楽しく取り組んでいます」とにつこり。3年前からは、おいらせ町のふるさと納税返礼品にも選ばれた。「それは、このクッキーが全国に届けられるという



こと。そして何より嬉しいのはクッキー作りを通して入所者がコミュニケーションを取れるようになったこと。地元の人たちに、このクッキーは美味しいね、と言ってもらえるのが一番の励みです」と話す。

現在、町内にあるアグリりの里のほか、十和田市の「かだあゝれ」、八戸市の蕪島物産販売施設「かぶーにや」ではオリジナルのウミネコクッキーも販売している。

「将来は工房をもっと大きくして、町外にも工房を建設したい。そしていつか、世界に向けて販売できたらいいなあ」と夢を語った。

清水典子の

見つけた！あのもり人。

画と文が織りなす新たなアート

制作中は写経の境地

文画師 曾我 篤 さん（西目屋村出身）



文画師という肩書を聞いたことがあるだろうか。「文画」で商標登録をしているので、世界にただ一人の文画師だ。

2026年春、弘前市の「弘大カフェ」で開催された文画展を訪ねた。遠くから作品を眺めると絵画のようだが、近づいていくにつれて、文字が浮き上がってくる。

作家芥川龍之介の顔だなどと思いつつ、近づいていくと、顔を構成しているのは文字であり、そこには芥川の短編小説「蜜柑」



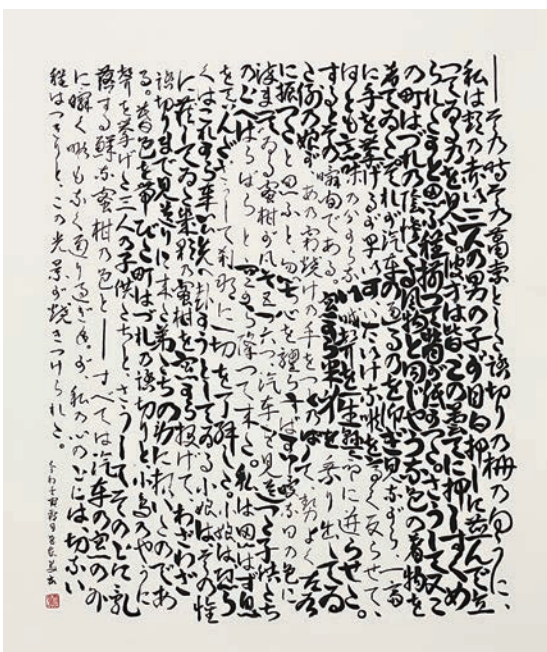
「基本的には書家です。万年筆のGペンの筆圧を変えることで文字の太さ、濃さに変化をつけて、誰が見ても芥川龍之介、太宰治、宮沢賢治だと分かるような作品に仕上げていきます」

西目屋村出身。弘前高校卒業後上京し、東京の大学では情報工学を専攻した。大手の会社で就職し、システムエンジニア（SE）として働く日々を送り、「コンピュターと一日中向き合っているの、デジタルストレスを感じることが多く、気分転換を兼ねて読書をし、印象に残った文章をノートに書きだしたりしていました」

あるとき、旅先でカリグラフィー用のペンに出会った。カリグラフィーとは古代や中世ヨーロッパなどで使われた装飾された文字のことで、西洋の「書道」にあたる。「万年筆を使うとインクの色も自由に選べて楽しい。休職中、カリグラフィーの教室に通い、先生についてきちんと基本を学びました。この道しかない！と決意し、辞職して書家となりました」

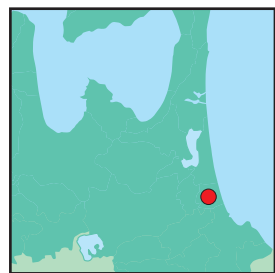
カリグラフィーを用いた広告デザインなどを生業としていたが、文字と絵を融合した細密画のような新しい作品を作れないかと思案していた。コロナ禍、仕事が減り、時間ができる中で考案し、誕生したのがこの文画だった。

画を成す文章量がすごい。初めに設計画を描き、そこに収まる文章量、文字数を決め、鉛筆で試し書きをする。一点仕上げるのに、ひと月かかった。作家の生原稿を見て、作家の文字になるだけ寄せて書く。漱石、芥



川、太宰の書体に寄せた五十音表をそれぞれ作ってある。書き出せば写経のような境地になる。「日にちを跨ぐと文字が変わってしまうので、日々、自分の精神状態を一定に保つことが大切」と話す曾我さん。

フランスで展示した『ありがとう』と題する作品には、眼病に霊験あらたかと言われる「ルルドの泉」に現れたマリア像を聖書の中の「テサロニケ人への第一の手紙」の文章で表現した。コロナ禍の時期、目の焦点が合わなくなつて日常生活に支障をきたし、西目屋に帰省をした。祖母が心配して乳穂ヶ滝へお参りに連れて行ってくれた。東京に戻り、眼帯を取ると眼が治つていたという体験とルルドの泉の奇跡を重ねた作品で、カト



【おいらせ町】

青森県の東南部、清流奥入瀬川が太平洋へとそそぐ、おいらせ町は、面積約72平方キロメートル、人口約25000人。鉄道や高速道路のインターチェンジ、大型モールがあり、降雪が少ない暮らしやすい町として、成長を続けている。いちよう公園にある「日本一の自由の女神」は、町のシンボル。ニューヨークとおいらせ町が、同緯度の北緯40度40分にあることから、数字の4にこだわり、ニューヨークの4分の1の大きさで建てられた。

いちよう公園では、春は桜が美しく、夏は野鳥が戯れ、秋は紅葉が素晴らしい。冬は白鳥が飛来し、水面で踊る姿が楽しめる。「おいらせ阿光坊古墳群」は、国の史跡「阿光坊古墳群」のガイダンス施設として建てられた。古墳群からの出土品等を展示しているほか、季節展示や、勾玉づくり、土器づくりの体験学習も行われている。「大山将棋記念館」では、将棋の魅力と、名人の足跡にふれることができる。そよ風が爽やかな季節、おいらせ町を旅してほしい。

市町村めぐり



日本一の自由の女神



清流はウチじゃないんで。おいらせ町は、奥入瀬川が太平洋へとそそぐまち。女神に囲まれ、清流・奥入瀬川が太平洋へとそそぐまち。行政の方々が真面目に「コツコツ積み上げていることを、いかに分かりやすく、興味をもってもらえるよう一般の方に発信できるか」というのが、今の私の役目かなと思っています。これからのあそび心を忘れずに活動していきたいと思っています。

おいらせ町 地域おこし協力隊

井上 格さん



街角インタビュー

東京都杉並区から、妻の故郷であるおいらせ町に、2024年に移住しました。ちょうど転職を考えていた時期で、東京での生活に息苦しさを感じていたこともあり、おいらせ町の地域おこし協力隊に応募しました。

ミッションは観光物産の振興です。おいらせ町はベッドタウンとしての顔が強く、観光や物産に関してはまだまだ伸びしろが多いと感じています。非常にやりがいのあるミッションです。

とにかく、まずはおいらせ町を知ってもらい、興味をもってもらいそこから始めています。東京でPRすれば「溪流がきれいですね」と言われ（奥入瀬溪流は十和田市、県内でもまだまだ「おいらせまち」と呼ばれることが多いのが現状です。「悪名は無名に勝る」の精神で独自の宣伝活動を展開しています。そのひとつとして、左にあるようなポスターを考案しました。役場内の投票を経て、実際に採用されたときはうれしかったです。

観光列車やラジオ番組や各種イベントなど、あらゆる媒体を通して積極的に町のPRをしています。先日は弘前はるが夢球場で行われた、りんご娘のコンサートでPRの機会をいただきました。おいらせ町には桃川のお酒や日本ハムの生ハムなど、魅力的な特産品も多くありますので「つかみ」さえしっかりできれば、皆さんに興味をもってもらえることを実感しています。



大山将棋記念館



おいらせ阿光坊古墳館

特集

おらばら

日本海に面した海岸線が、
約78キロメートルも続く深浦町。
奇岩怪石と美しい夕陽、神秘の湖、世界自然遺産など
とっておきの見どころを紹介します。

夕陽海岸

深浦町は、海に面して約78kmにわたり海岸線が続いているため、空と海を茜色に染めながら、ゆっくりと沈む太陽を眺めることができます。その美しさから「夕陽海岸」と呼ばれ、千畳敷海岸や岡崎海岸など名所も点在しています。

■問い合わせ先
深浦町観光協会 TEL 0173-82-0875

北金ヶ沢のイチョウ (日本一のイチョウ)

国の天然記念物に指定されている樹齢1,000年以上の老木。高さ約31m、幹周約22mとイチョウの中で日本一の巨木です。幹から垂れ下がっている乳房に似た形の気根に触れると、母乳の出がよくなると言われている。銀杏の葉が黄金色に色付く11月中旬から下旬には「ビッグイエロー」と称して夜間ライトアップが行われ、暗闇に浮かぶ巨大な金色の姿は圧巻です。

■問い合わせ先
深浦町観光課
TEL 0173-74-4412

森山海岸からの星空

JR東日本管内で、最も短いトンネルがあり、大小さまざまな岩が連なる美しい森山海岸。この森山海岸を含む旧岩崎村は、かつての環境庁が夏季の星空継続観測で「夜空が最も澄み、全国で一番、星の観測に適している所」とされた場所です。

■問い合わせ先
深浦町観光協会 TEL 0173-82-0875

アオーネ白神十二湖

北欧産本格ログ造りのコテージと、集合棟の和室の2タイプの宿泊棟のほか、レストラン、物産館、広大な芝生の中には遊具広場などがあり、白神山地・十二湖の自然を楽しみながら滞在できます。

■問い合わせ先
アオーネ白神十二湖 TEL 0173-77-3311

深浦町の海岸線

津軽国定公園 十二湖

江戸時代、この地を襲った大地震によって谷口がせき止められ、地盤が陥没して形成された33の湖沼からなる十二湖。崩山の中腹（大崩）から眺めると、小さい池は森の中に隠れ、12の大きな池だけ見えることから「十二湖」と名付けられました。散策のおすすめは、森の物産館キョロ口を拠点に、青池、ブナ自然林、沸壺の池をめぐる約1時間ほどのコース。道もなだらかで気軽に散策できます。

■問い合わせ先
深浦町観光協会 TEL 0173-82-0875

森の物産館キョロ口

青池など十二湖エリア散策の中心スポット。おみやげや特産品を販売しているほか、トイレ、ロッカーもあり、ひと息つくのにぴったりです。

■問い合わせ先
森の物産館キョロ口 TEL 0173-77-2781
営業時間 午前9時～午後4時30分（季節により営業時間に変更有）
定休 / 12月～3月

青池

津軽国定公園 十二湖を代表する名湖。青池は、まるで青インクを流し込んだように真っ青な湖水を湛えています。じっと見てみると、吸い込まれそうほど美しく神秘的。陽の光と見る角度によって千変万化する幻想の世界が広がります。

■問い合わせ先
深浦町観光協会
TEL 0173-82-0875

沸壺の池

近くの小さな谷間から水が湧き出し、流れ込んでいるのが沸壺の池。この湧き水は青森県の名水に認定されています。湖水はエメラルドグリーンで、神秘的な雰囲気漂わせています。平成20年には平成の名水百選（環境省）に認定されました。

■問い合わせ先
深浦町観光協会 TEL 0173-82-0875

これからの季節、野外活動で気をつけなければならぬのが「虫刺され」です。蚊、ブヨ、ハチ、ダニなどの虫が原因で、痛みやかゆみ、赤みや腫れなどがおこり「刺虫症」と呼ばれています。

虫刺されは、虫が血を吸ったり、刺したり、咬んだりすることでおこる皮膚の症状。虫のもつ毒成分や唾液成分などの異物が皮膚のなかに侵入すると、刺激反応やアレルギー反応がおこるのです。

主な症状は、かゆみです。皮膚に入った毒成分や、唾液成分に対するアレルギー反応によっておこり、掻き壊すと皮膚が傷つき、黒ずんでしま



うこともありま。また刺激反応やアレルギー反応により、皮膚が炎症をおこして赤みを帯びることがあります。そして刺激反応やアレルギー反応により、皮膚の一部がふくらみ、はれてしまいます。虫の種類によっては、激しい痛みをとまなう場合もあります。また、虫に刺されてからしばらくして、皮膚のなかに透明な液体が溜まって盛り上がる症状も出ます。かゆみをとまなうことが多いため、つい掻きたくなってしまうかもしれませんが、水ぶくれを掻くと皮膚が破れ、なかに溜まっていた液体が患部の周囲の皮膚に広がることでかぶれたり、ただれたりする場合があります。



これらの症状が狭い範囲なら「軽度の虫刺され」といえませんが、ハチやムカデ、毛虫に刺された際のアナフィラキシーショックなど、刺された所だけでなく全身に及ぶ症状が出る可能性もある虫刺されについては、注意が必要です。刺されてから30分〜1時間で血圧低下や呼吸困難、意識消失などが生じ、命の危険につながることもあるからです。体調に異変を感じたり、呼吸困難、血圧低下といった全身症状が現れたら、すぐに医療機関を受診してください。



虫刺されの予防方法としては、外出時は肌の露出を減らし、虫よけスプレーを携帯します。露出している所を吸血する蚊やブヨ、触れるだけにかぶれる毛虫との接触を極力防ぎましょう。とくに夏にかけて、薄着になる時期に虫は活発になります。庭仕事やアウトドアでのレジャーの際は、長袖シャツや長ズボンを着用するなど、皮膚を覆う服装を心がけてください。外出前には虫が嫌う成分が配合された虫よけスプレーをつけ、



外出時にも携帯するといでしょう。

ノミやダニの発生を防ぐためには、日頃から定期的に室内の掃除を行いましょう。とくに寝具のなかは湿度もあるため、ダニが発生しやすくなっています。布団乾燥機を使ったり、まめに天日干しをするなど、ダニの温床にならないように心がけましょう。

虫刺されを予防するには、庭や公園、山野など、原因となる虫が生息する場所に近寄らないことも大切です。草むらや植え込みには毛虫やマダニなどが潜んでいることもあるので、むやみに近寄らないようにしましょう。

ハチやハチの巣にも注意が必要です。とくにハチの活動が活発になる夏から秋にかけて、ハチやハチの巣に遭遇した際は刺激しないように、慌てず静かにその場を離れてください。

対処方法としては、虫に刺されたり咬まれたら、患部を

流水で洗い清潔にします。触れたりかいたりするのは厳禁です。かゆみが強い場合は、刺された箇所を冷やすと症状が和らぎます。

軽いかゆみには、市販のかゆみ止め薬を活用すると良いでしょう。かゆみが強いうえ、皮膚に赤みや腫れなどの炎症がみられるときには、ステロイド外用剤（塗り薬）も有効です。掻きすぎて傷になる前に、かゆみを抑え強い抗炎症作用のあるステロイド外用剤を使用するのがポイントです。

薬局・薬店の薬剤師、登録販売者に症状を伝え、使用できるステロイド外用剤があるかどうか相談してみましよう。薬局・薬店で購入したステロイド外用剤を5〜6日使用しても改善がみられない、患部に水ぶくれができるなど、気になる症状が現れた場合は、自己判断で使用を続けず、皮膚科を受診しましょう。



あいちゃんの読んで得だね!

今回「やすらぎ」の取材で訪れた深浦町とおいらせ町のとっておき情報をお届けします。

道の駅ふかうら「かそせいか焼き村」

《深浦町》

大きなイカの看板が目印の、道の駅ふかうら「かそせいか焼き村」。目の前の海で獲れた鮮魚が店頭でズラリと並んでいます。

産直友の会によるお惣菜も豊富で、一番人気は、真イカと紅鮭の「飯寿司」。各家庭で味が違うので食べ比べてみるのも楽しいですよ。お弁当は300円から500円でボリューム満点。「マグロ串カツ」は、まるでお肉のような味わい。ちよっぴり甘くてしょっぱい笹餅も好評です。

海を眺めながら食事が出来る海鮮食堂では「マグロ丼」や「漬けマグロ丼」がおすすめ。刻んだワカメが入った塩ソフト「ソルティ」も美味しい! 店先の屋台では生干し焼きいかも販売しています。



■お問い合わせ
道の駅ふかうら「かそせいか焼き村」
TEL 0173-76-3660
営業時間 9:00〜17:00
冬季期間短縮営業・不定休有
定休日 12月31日〜1月3日
※食堂営業時間 11:00〜15:00

おいらせ下田まつりの生き人形

《おいらせ町》

毎年9月の下旬、下田駅前で開催される「おいらせ下田まつり」。

山車の見どころは、「生き人形」。県南地方の山車は、歴史絵巻を、きらびやかな人形で彩るのが特徴ですが、下田まつりでは人形の代わりに、着飾った人たちが山車に乗り、無病息災と五穀豊穡を祈願する、珍しい「生き人形山車まつり」です。



あいちゃんのほのぼのコーナー

旅行気分? おいらせ町の巻



♡ 取材こぼれ話

《おいらせ町》

♡ おいらせ町でのランチタイムは、大きなマグロのオブジェが目印の旨味処かまどへ。「青森県産天然本鮪丼」は大間マグロの大トロ、中トロ、赤身がぎっしり! 「五種の本鮪丼」、「天然本鮪丼卵黄のせ」のほか「とろとろ丼」はカマトロ、大トロ、中トロが、口の中でとろけるようなおいしさでした。また「煮干しラーメンとカンパチゴマ醤油漬丼」もいただきました。そして今年の4月、おいらせ町ブランドに認定された「鶏の唐揚げ」はとってもジューシー。「塩鶏唐揚げ定食」「塩唐揚げガリタル定食」「チキン南蛮定食」も絶品でした。



青森県産天然本鮪丼



五種の本鮪丼



天然本鮪丼卵黄のせ



とろとろ丼



煮干しラーメン



カンパチゴマ醤油漬丼



鶏の唐揚げ



塩鶏唐揚げ定食



塩唐揚げガリタル定食



チキン南蛮定食

♡ おいらせ町ならではのお土産を求めて、観光農園「アグリノ里おいらせ」へ。焼きたてパン工房では出来立てのパンがいろいろ。青森県産もち小麦「もち姫」を使った食パンは、もちもち! 農園で収穫したブルーベリーで作った「ブルーベリーミルクアイス」は、爽やかな甘さでした。

♡ おいらせ町には、ふるさと納税の返礼品になっている美味しいものが多い。町には日本ハム北海道ファクトリー(株)おいらせ工場があり、ここでは生ハムが作られています。全国のセブンイレブンなどで販売されている「乾燥させた生ハム」はレモン味が最高でした!



♡ アグリノ里おいらせ



焼きたてパン工房のパン



ブルーベリーミルクアイス

東養蜂場の「さくら蜂蜜」は、いちよう公園にあるさくらから採取した蜂蜜なんです。肉工房たかの「豚タン三日漬」、カワヨグリーン牧場の100%「牛乳」、柏崎青果の「熟成おいらせ黒にんにく」、モンターニュの「びっくりごん太」、桃川の「おいらせ純米酒 穂ノ泉」も、ぜひ味わってみて。



♡ さくら蜂蜜



豚タン三日漬



牛乳



熟成おいらせ黒にんにく



びっくりごん太



おいらせ純米酒 穂ノ泉

♡ ほかに「ファーマーズマルシェ hitotsubu」の「チコリソフト」、川越せんべい店の初代から現在の五代目までが考案した味を集めた「五代味くらべ」。月見亭の「へっちょこ汁」は、おいらせだるまいもで作った地元ならではの一杯でした。



へっちょこ汁



五代味くらべ



チコリソフト

《深浦町》

♡ 深浦町で最初に訪れたのは千畳敷。夕陽の見える展望デッキ・千畳敷センターでは、海を眺めながら「海鮮丼」と「魚粉パカラーメン」をいただきました。アジで作った自家製魚粉でんご盛りのラーメンはとっても美味。これにかかっている、深浦町でとれた天然アジを100%使った「魚粉パカ」は、思わず購入しちゃいました。



海鮮丼



魚粉パカラーメン



魚粉パカ

♡ 十二湖・青池の近くにある、森の物産館キョロロでは「青池サイダー」「青池サイダーソフトクリーム」「青池ゼリー」をいただきました。さっぱりとした甘さが特徴的でしたよ。お土産には「ポストカード白神」をぜひどうぞ。



ポストカード白神



青池サイダー



青池サイダーソフトクリーム



青池ゼリー

♡ 読んで得だねのコーナーで紹介したいか焼き村のすぐ近くにある、かおりの店では、新鮮で肉厚な深浦産サーモンを使った「サーモンサンド」が



サーモンサンド



シェーク

人気。パニラ、ストロベリー、チョコなど、いろいろなフレーバーの「シェーク」もおすすめです。♡ 地元の人に愛されている末丸食堂の「ザンギ定食」は、鶏肉3枚を使っていてボリューム。ちぢれ麺の「辛味噌ラーメン」は辛さを選ぶことができます。「生姜焼き定食」もいいですね。



ザンギ定食



生姜焼き定食



♡ 辛味噌ラーメン

♡ 誕生から13周年を迎えた「深浦マグロステーキ丼」(通称マグステ丼)は、町内5つの飲食店で味わうことができます。

♡ ほかに「つるつるわかめ」、「ふかうら人参ジュース」は、お土産に最適。



深浦マグロステーキ丼



ふかうら人参ジュース



つるつるわかめ

♡ そして五能線開通90周年となる今年、艦作埼灯台近くにある「五能線全通記念碑」を訪ねてみるのも良さそうです。



五能線全通記念碑 ▶



くみあい 情報板

令和8年度一般会計予算

歳入	負担金	6,174,842
	財産収入	170,656
	繰入金	500,000
	繰越金	1,000
	諸収入外	12,423
	計	6,858,921

(千円)

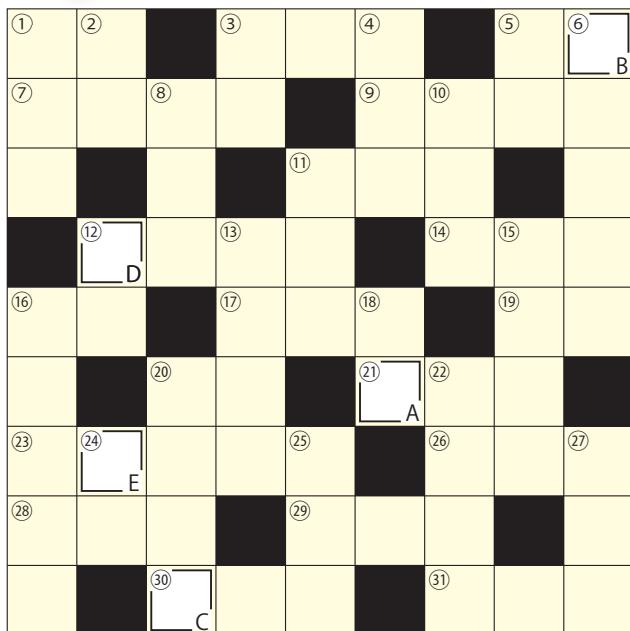
歳出	議会費	712
	総務費	85,116
	給付費	6,770,035
	積立金	1
	予備費外	3,057
	計	6,858,921

(千円)

組合ホームページをご利用ください <https://aomori-taite.jp>

(主な内容/お知らせ・概要・例規集・様式・事務の手引・試算・構成団体決算状況・組合回報誌「やすらぎ」・リンク集)

あいらんの クロスワードパズル



パズル制作：エッグハウス

□の中の文字をABC順に並べると、ある言葉ができます。

(ヒントは「やすらぎ」の中にあります。)

はがきにクロスワードの答えと、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、所属市町村名、「やすらぎ」へのご意見、ご感想、メッセージを添えて、〒030-0812 青森市堤町2丁目1-1青森県市町村職員退職手当組合「やすらぎ」編集室までお送り下さい。正解者10名様に抽選で素敵なプレゼントを差し上げます。締切/2026年7月末日消印有効

〈タテのカギ〉

1.深浦町は「世界遺産と夕陽と〇〇〇のまち」です。2.漢字では「狆」と書く小型の愛玩犬。3.アサリ、サザエ、ハマグリなどの総称。4.おいらせ町のイメージキャラクター、〇〇〇くん。5.相撲の番付で、三段目のひとつ下は〇〇二段。6.ジェットコースターや観覧車、メリーゴーランドなどに乗れる娯楽施設。8.もうどうにもならない、〇〇〇休すだ! 10.地球の自転の中心となる直線。11.赤、白、ロゼなどがあります。12.南を向いて立った時、右側の角は? 13.一家の収入や支出などを記録する帳簿。15.サイズや着心地を確かめるため、ために着てみよう。16.バーベキューなどによく使われる、骨つき豚バラ肉の名称。18.賛同して支えること。私はその意見を〇〇します。20.「〇〇〇〇を崩す」とは、厳しい表情を和らげてにこにこすること。22.深浦町の東側は、世界遺産の〇〇〇〇山地が連なっています。24.今、困、魂に共通する音読みは? 25.土用の丑の日にはこの魚を食べて夏バテ防止。27.深浦町には、ある文豪が宿泊した旅館を改築した「〇〇〇の宿 ふかうら文学館」という施設があります。

〈ヨコのカギ〉

1.深浦町は、関西と北海道を結ぶ北前船の風〇〇湊として栄えてきました。3.チョコレート原料となる豆。5.七福神の一柱で、長寿の象徴である鹿を連れているのは〇〇老人。7.相撲の行司が手に持っているものは? 9.生命力が強く環境の変化に対応して芽吹く、おいらせ町の「町の木」は? 11.「草鞋」と書く履き物。12.一次会が終わり、次は場所を変えての〇〇〇〇だ! 14.目的のための苦労や努力。〇〇〇〇惨憺(さんたん)の末、ようやく作品が完成した。16.日本食の代表格。巻き、ちらし、握りといえど? 17.「糸切り歯」ともいいます。19.母 20.醤油を英語でいうと「〇〇・ソース」。21.江戸幕府の三奉行とは、町奉行・勘定奉行・〇〇〇奉行。23.おいらせ町にある国史跡、〇〇〇〇古墳群。26.「砂漠の船」と呼ばれる動物。28.青森県が全国一位の生産量を誇る果物。29.ペルー南部の砂漠地帯に描かれた、巨大な「〇〇〇の地上絵」。30.日本では、月で餅つきをしているといわれる動物。31.過去→現在→?

前回パズルの当選者

厳正な抽選の結果、次の10名様が当選しました。おめでとうございます。
(応募数75名)

〈前回パズルの解答〉

アーツトワダ

〈所属市町村等名・氏名〉

五所川原市	渋谷美香	三戸町	下屋敷 あゆ海
平内町	工藤隼之郎	階上町	畑中 裕一
六戸町	久田浩貴	中部上北広域事業組合	洗平 美珠
六戸町	高橋優子	五所川原地区消防事務組合	奈良岡 拓登
おいらせ町	三村雄大	つがる西北五広域連合	工藤 博